

【学力向上フロンティアスクール中間報告書】

都道府県名	愛媛県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	御荘町立平城小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	22
児童数	54	56	69	61	68	66	3	377	

研究の概要

1. 研究主題

<p>確かな学力を身につけ、生き生きと学ぶ児童の育成 算数科における個に応じた指導の工夫を通して</p>

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>全学年・算数 算数の学習内容の理解・定着において個人差が大きいということが本校の課題としてあげられていたため。</p>

(2) 年次ごとの計画

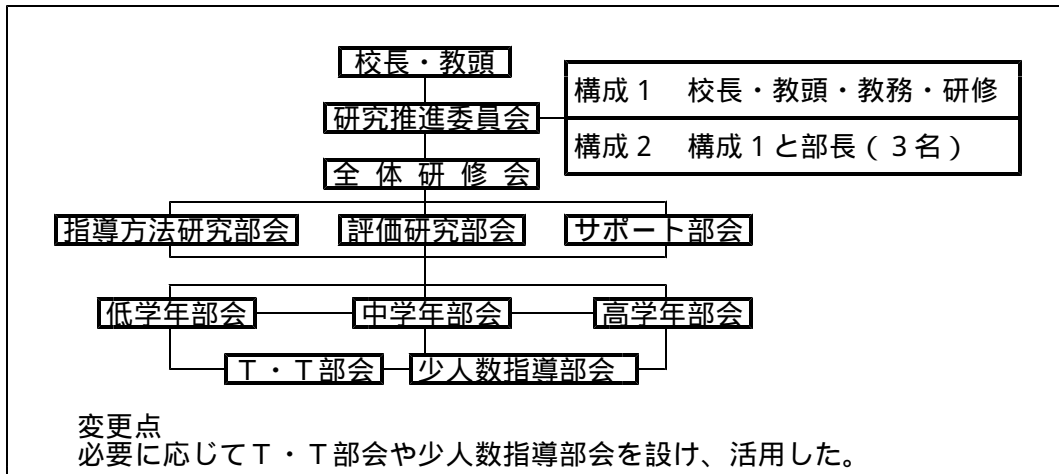
平成14年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけ、生き生きと学ぶ児童の育成 算数科における個に応じた指導の工夫を通して</p> <p>仮説 ア 個に応じた指導方法や指導体制の工夫改善を行えば、基礎・基本が定着し、自ら学び自ら考える児童を育成することができるであろう。 イ 児童の学習状況の評価を生かした指導の改善を行えば、児童に分かる楽しさ、学ぶ楽しさを体験させることができ、学習意欲を高め、進んで学ぶ児童を育てることができるであろう。 ウ 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発を行えば、学びの機会が充実し、学ぶ習慣を身につけた児童を育てることができるであろう。</p> <p>研究内容・方法 ア 授業づくり（授業研究を通して） ・ 分かる・楽しい授業づくり ・ 個に応じた指導方法や指導体制の工夫（少人数指導、T・T） イ 評価（実践・記録の分析を通して） ・ 評価規準の作成 ・ 評価方法の工夫 ・ 個人記録の作成と分析 ・ 指導と評価の一体化 ウ 学習の習慣化・情報の発信（フロンティア通信・ホームページを通して） ・ 補充的な学習の保障 ・ 発展的な学習の教材開発 ・ 家庭学習の充実 ・ 家庭・地域との連携 ・ 他校への発信</p>
	<p>テーマ 確かな学力を身につけ、生き生きと学ぶ児童の育成 算数科における個に応じた指導の工夫を通して</p>

平成15年度	<p>仮説</p> <p>ア 個に応じた指導のための指導方法や指導体制の工夫改善を行えば、児童に分かる楽しさ、学ぶ楽しさを体験させることができ、学習意欲を高め、進んで学ぶ児童を育てることができるであろう。</p> <p>イ 児童の学習状況を適切に評価し、評価を生かした指導の改善を行えば、基礎・基本が定着し、自ら学び自ら考える児童を育成することができるであろう。</p> <p>ウ 朝の時間や放課後を有効に活用して学びの機会を充実させたり、家庭と連携して基本的な生活習慣の育成を図ったりすれば、学ぶ習慣を身につけた児童を育てることができるであろう。</p>
	<p>研究内容・方法</p> <p>ア 分かる・楽しい授業づくりのために 【指導方法研究部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じたきめ細かな指導の工夫 ・ 問題解決的な展開の重視 ・ 算数的活動の重視 ・ 実生活と関連のある課題設定の工夫 ・ 他教科への波及 <p>イ 指導と評価の一体化のために 【評価研究部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の実態の把握 ・ 評価規準の作成 ・ 評価方法の工夫 ・ 指導と評価の一体化の実践 <p>ウ 学ぶ習慣の育成のために 【サポート部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの機会の充実 ・ 家庭との連携による基本的な生活習慣の育成 ・ 他校への発信 <p>変更事項</p> <p>ア 学力向上のためには学ぶ習慣の育成が大切で、学ぶ習慣の育成のためには、家庭との連携による基本的な生活習慣の育成が大切になってくる。そこで、仮説の中にも家庭との連携による基本的な生活習慣の育成について入れた。</p> <p>イ 算数科だけでなく、他教科への波及を目指して、研究内容の中に入れた。</p>

平成16年度	<p>テーマ 確かな学力を身につけ、生き生きと学ぶ児童の育成 算数科における個に応じた指導の工夫を通して</p> <p>仮説</p> <p>ア 個に応じた指導のための指導方法や指導体制の工夫改善を行えば、児童に分かる楽しさ、学ぶ楽しさを体験させることができ、学習意欲を高め、進んで学ぶ児童を育てることができるであろう。</p> <p>イ 児童の学習状況を適切に評価し、評価を生かした指導の改善を行えば、基礎・基本が定着し、自ら学び自ら考える児童を育成することができるであろう。</p> <p>ウ 朝の時間や放課後を有効に活用して学びの機会を充実させたり、家庭と連携して基本的な生活習慣の育成を図ったりすれば、学ぶ習慣を身につけた児童を育てることができるであろう。</p>
	<p>研究内容・方法</p> <p>ア 分かる・楽しい授業づくりのために 【指導方法研究部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個に応じたきめ細かな指導の工夫 ・ 問題解決的な展開の重視 ・ 算数的活動の重視 ・ 実生活と関連のある課題設定の工夫 ・ 他教科への波及 <p>イ 指導と評価の一体化のために 【評価研究部会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の実態の把握 ・ 評価規準の活用

- ・ 評価方法の工夫
- ・ 指導と評価の一体化の実践
- ウ 学ぶ習慣の育成のために 【サポート部会】
- ・ 学びの機会の充実
- ・ 家庭との連携による基本的な生活習慣の育成
- ・ 他校への発信

(3) 研究推進体制



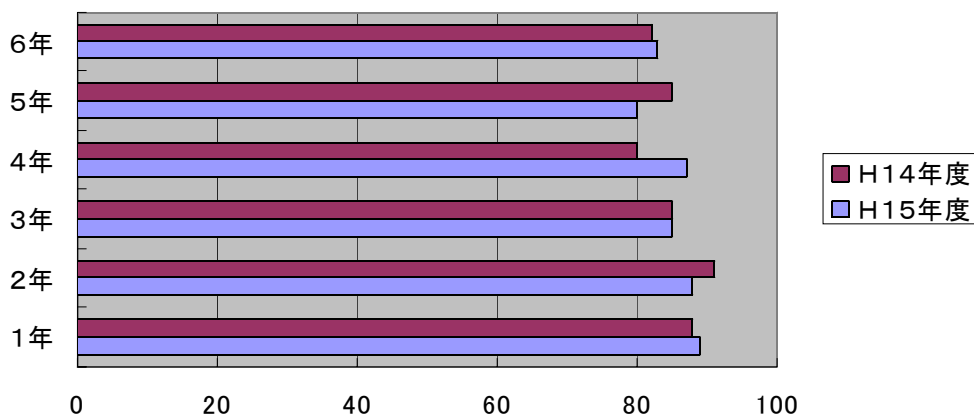
平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

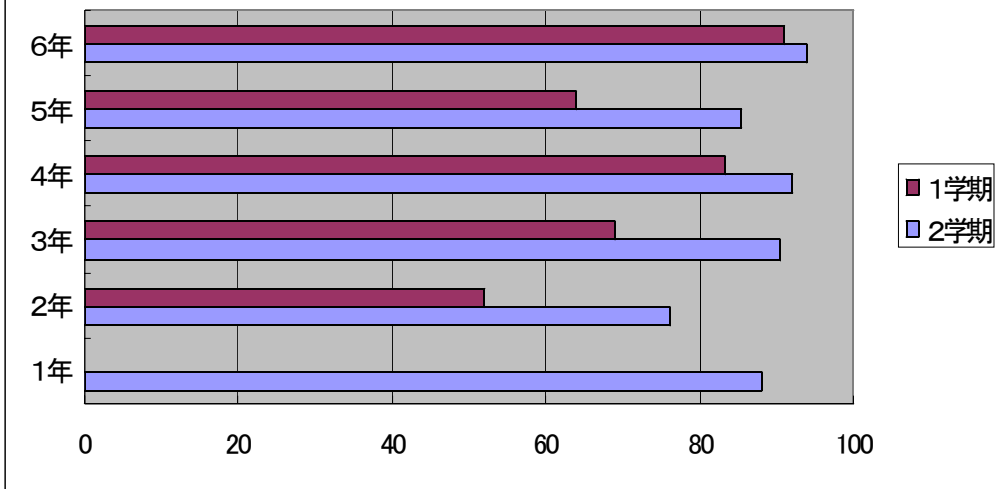
(1) 児童の漢字力や算数科における基礎学力の向上

- ア 研究授業を行ったり教師間の連携を取り合ったりすることで、教師の授業改善に対する意識が高まってきた。また、1年次よりも2年次の方が教師にもゆとりが生まれてきた。
- イ 単元の指導計画の中に1時間ごとの基礎・基本を明らかにすることや繰り返し指導、習熟の程度に応じたコース別学習などで、指導の重点化ができ、基礎的・基本的な内容をしっかり押さえて指導できるようになった。
- ウ 放課後の補充的な学習で学習に遅れがちな児童に、より個に応じた指導を行うことができ、「分かった」「できた」という喜びの声が児童や保護者から聞かれるようになった。
- エ 自己評価カードや算数日記などを見ると「楽しかった」「分かってきた」という感想が増え始め、意欲が高まってきているのが感じられる。
- オ その結果少しずつではあるが児童に基礎学力が身についてきた。

学力診断テスト到達度(算数)全校児童対象 %



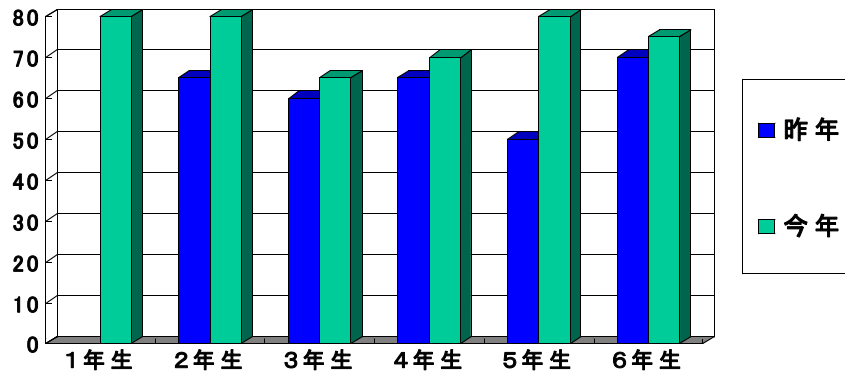
漢字習得率調査結果表(平成15年度)



(2) 保護者との連携の基礎づくり(朝食をとる児童の増加)
 学ぶ習慣の育成のためには、まず基本的な生活習慣の育成が大切で、家庭との連携がなくてはならない。そこで、説明会やフロンティア通信、学級通信を活用をして、保護者へ学校での活動や家庭へのお願いなどをお知らせした。保護者からの返信もあり、保護者の関心が高まりつつあることが感じられた。例えば、朝食をとる児童が昨年度より増え、ゆとりをもった登校ができ学習への集中力につながっている。

〔朝食しらべ〕 (%)

〔平成15年11月〕



2. 今後の課題

- (1) 基礎学力の確かな定着。特に数学的思考方の育成
- (2) 教師の指導力や評価力の向上
- (3) 算数科において実践してきたこと他教科への波及
- (4) 全教科における思考力やコミュニケーション能力の育成
- (5) より妥当性の高い効率的な評価方法の工夫
- (6) 基本的な生活習慣育成のための家庭との連携の強化

学力等把握のための学校としての取組

1. 評価規準に基づいた評価結果による学力把握
(毎時間・単元末の総括・各クラスごと・全児童対象)
2. 定期的な学力調査の実施
(年1回2月下旬に実施・観点別到達度学力検査【CRT】全児童対象)
3. 自作の意識調査による児童の算数科学習に対する関心・意欲の実態把握
(学期に1回【6月・10月・2月】・各クラス・全児童)
4. 生活チェックによる家庭での児童の変容の把握
(学期に1回【6月・10月・2月】・各クラス・全児童)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

1. 研究会(公開授業)の開催
【1回目】
日時 平成14年11月15日(金) 13:00~16:30
場所 御荘町立平城小学校
テーマ 確かな学力を身につけ、生き生きと学ぶ児童の育成
算数科における個に応じた指導の工夫を通して
対象 宇和島管内小中学校教職員・平城小保護者
【2回目】
日時 平成15年11月12日(水) 9:00~16:30
場所 御荘町立平城小学校
テーマ 確かな学力を身につけ、生き生きと学ぶ児童の育成
算数科における個に応じた指導の工夫を通して
対象 宇和島管内小中学校教職員・平城小保護者
2. 研究の成果普及のためのHP作成
本校のホームページ <http://ehime-misho-e.ed.jp/hirajyo/hirajyo.htm>
3. 研究のまとめ(紀要)の作成
平成14年11月 第1回公開授業の資料作成
平成15年3月 1年次研究集録の作成
平成15年7月 研究会資料作成
平成15年11月 第2回公開授業の資料作成
平成16年度末 3年間の研究のまとめ(予定)
4. フロンティアティーチャーによる研究の成果普及のための活動
平成15年12月 宇和島管内算数・数学冬季研究会での発表
平成16年7月 県算数・数学夏季研究会での発表(予定)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7~12学級
 13~18学級 19~24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無